

第4回東京大学学術資産アーカイブ化推進室主催セミナー  
「使われるデジタルアーカイブになるために」

# 東京大学学術資産等 アーカイブズポータルと 外部連携について

2021年2月16日

東京大学情報システム部情報基盤課

学術情報チーム デジタルライブラリ担当



# アーカイブズポータル概要

# 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業

---

- 事業概要

- 東京大学ビジョン2020のアクション「学術の多様性を支える基盤の強化」に踏まえ、東京大学学術資産等アーカイブズ委員会のもとに実施
- 学術資産アーカイブ化推進室により運営
- <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/archives-top>

- 主な取り組み

- 学内の多様な学術資産等のデジタル化
- デジタル化した学術資産等の公開支援

# 東京大学学術資産等 アーカイブズポータルとは

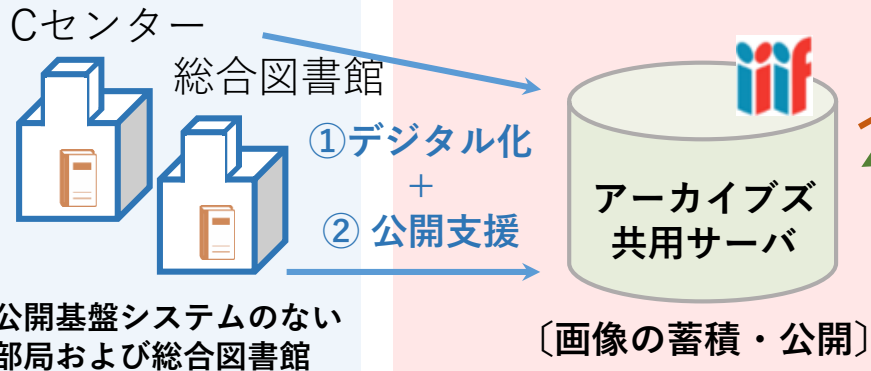
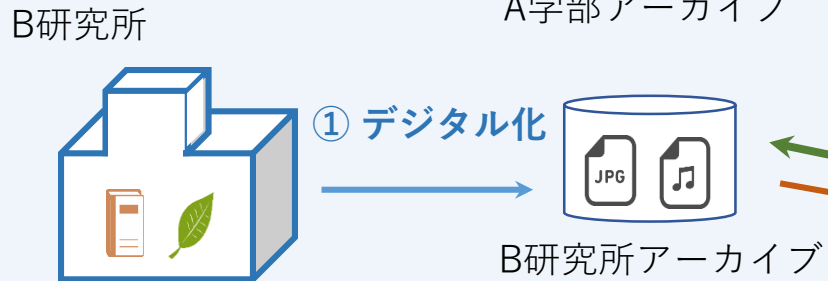
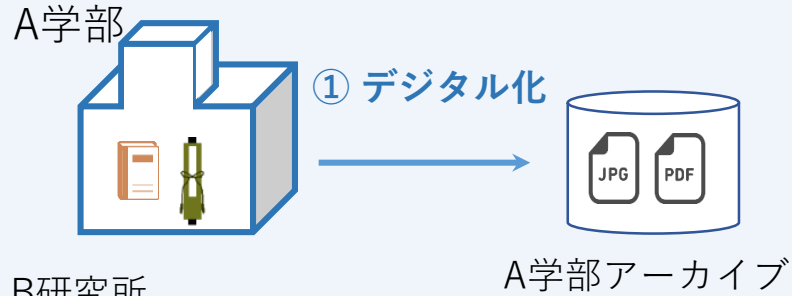
- 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業において構築
- 学内の様々な部局が独自に公開してきたコレクションのメタデータを許諾のもと収集、横断的な検索・提供を可能に
  - 2021年1月時点で90以上のコレクション・17万件以上のアイテムを格納
- 東京大学の学術資産等のデータ流通のハブとして、外部システムとの連携を行う



<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/>

# アーカイブズポータルの位置づけ

## 学部、附置研究所等の取組



## 東京大学学術資産等

## アーカイブズプラットフォーム

\* デジタルアーカイブズ構築事業で構築するシステムの総称



東京大学学術資産等  
アーカイブズリンク集

〔学内のデジタルアーカイブ関連  
サイトのリンク集〕

東京大学学術資産等  
アーカイブズ  
ポータル

〔メタデータの集積〕

→ メタデータの提供・取得

→ 元アイテムへのアクセス

外部サイトと  
の連携

\* 詳細はスライド11



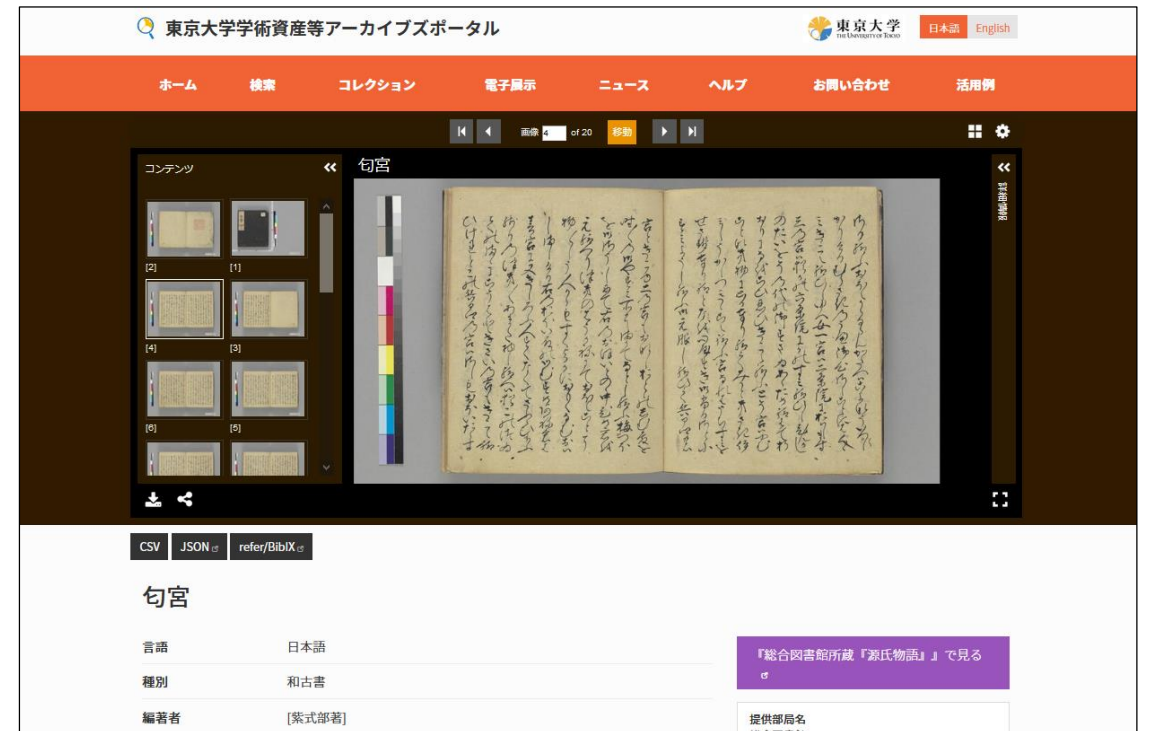
# 特徴(1) 元サイトの画像を活かす

一覧画面で元サイトの画像をサムネイル表示  
(画像の提供があるコレクションのみ)



「ピラネージ画像データベース」を一覧表示

元サイトがIIIF(\*)で画像を公開している場合は  
アイテム詳細画面で表示



総合図書館所蔵『源氏物語』より「勾宮」

\* IIIF = International Image Interoperability Framework

# 特徴(2) 元サイトのメタデータを活かす

- 元サイトのメタデータを、右の項目からなるフォーマットに変換して登録
- あてはまる項目がない場合は、極力「内容記述」に値をセット

アイテムID	メディア（画像等）有無
資料名	メディア（画像等）利用条件
資料名（ヨミ）	画像公開条件（ファセット）
別資料名	編著者
提供部局名	編著者（ヨミ）
コレクション名	出版者
公開サイトの名称	出版地
言語	刊行年、書写年等
種別	刊行年月日（西暦）
メタデータ利用条件	作成年月日（西暦）
メタデータ利用条件（ファセット）	関連年
アイテム詳細ページ	形態
サムネイル画像URL	<b>内容記述</b>
	DOI
	IIIF マニフェストURI

# アーカイブズポータルとの連携のために

- 登録対象

- 東京大学で所蔵する学術資産をデジタル化したもので、インターネット上で一般公開されているもの

- 提供いただくデータ、情報

- メタデータ + サムネイル画像URL + 利用条件
  - (参考) メタデータ必須項目

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1. 資料名       | 2. 提供部局名           |
| 3. コレクション名   | 4. 公開サイトの名称        |
| 5. 公開サイトのURL | 6. 画像へのリンク情報 (URL) |
| 7. 画像公開条件    |                    |

- 問い合わせ先

- 学術資産アーカイブ化推進室 : [digital-archive@lib.u-tokyo.ac.jp](mailto:digital-archive@lib.u-tokyo.ac.jp)



# 外部連携について

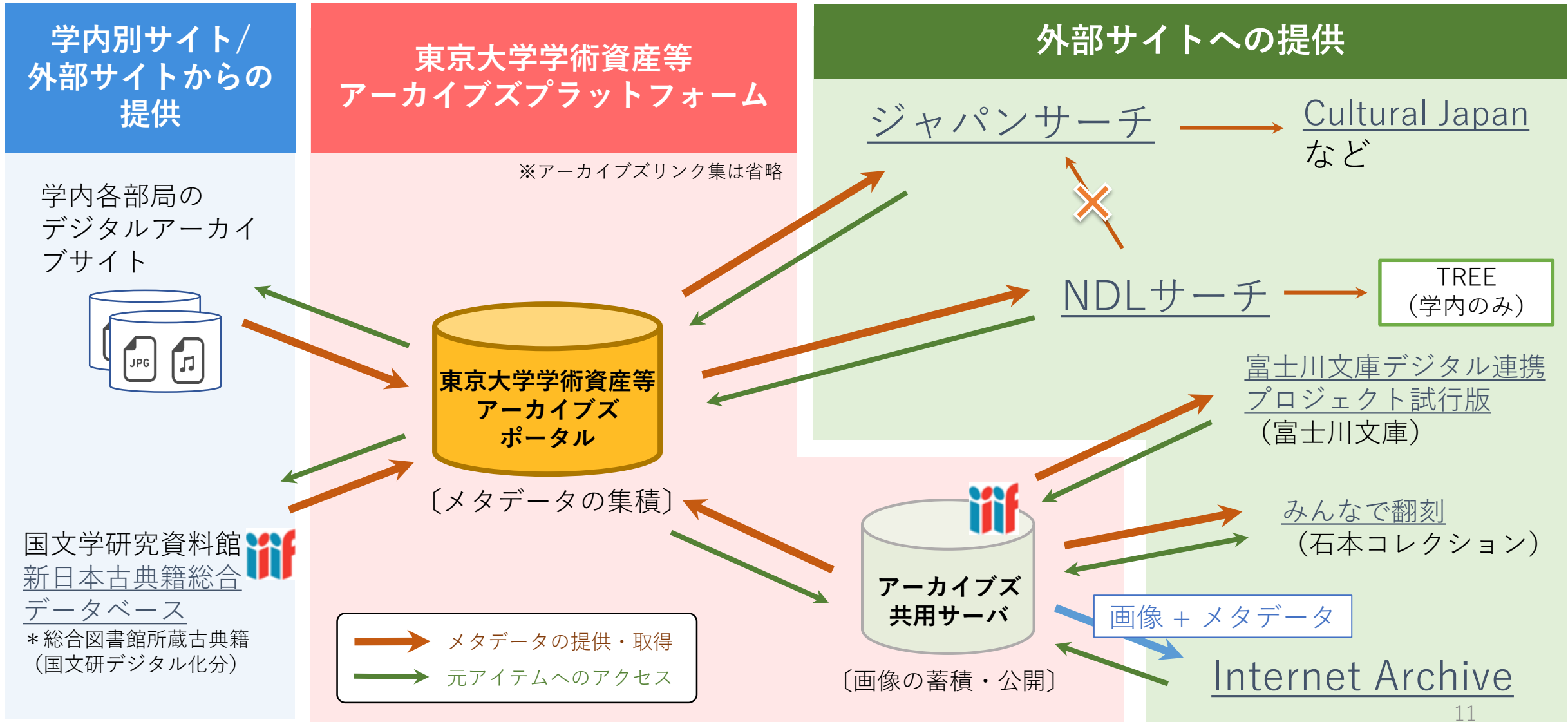


総合図書館所蔵「[花菖培養録](#)」を改変  
\*国文研「[歴史的典籍NW事業](#)」により  
デジタル化

# アーカイブズプラットフォームの外部連携

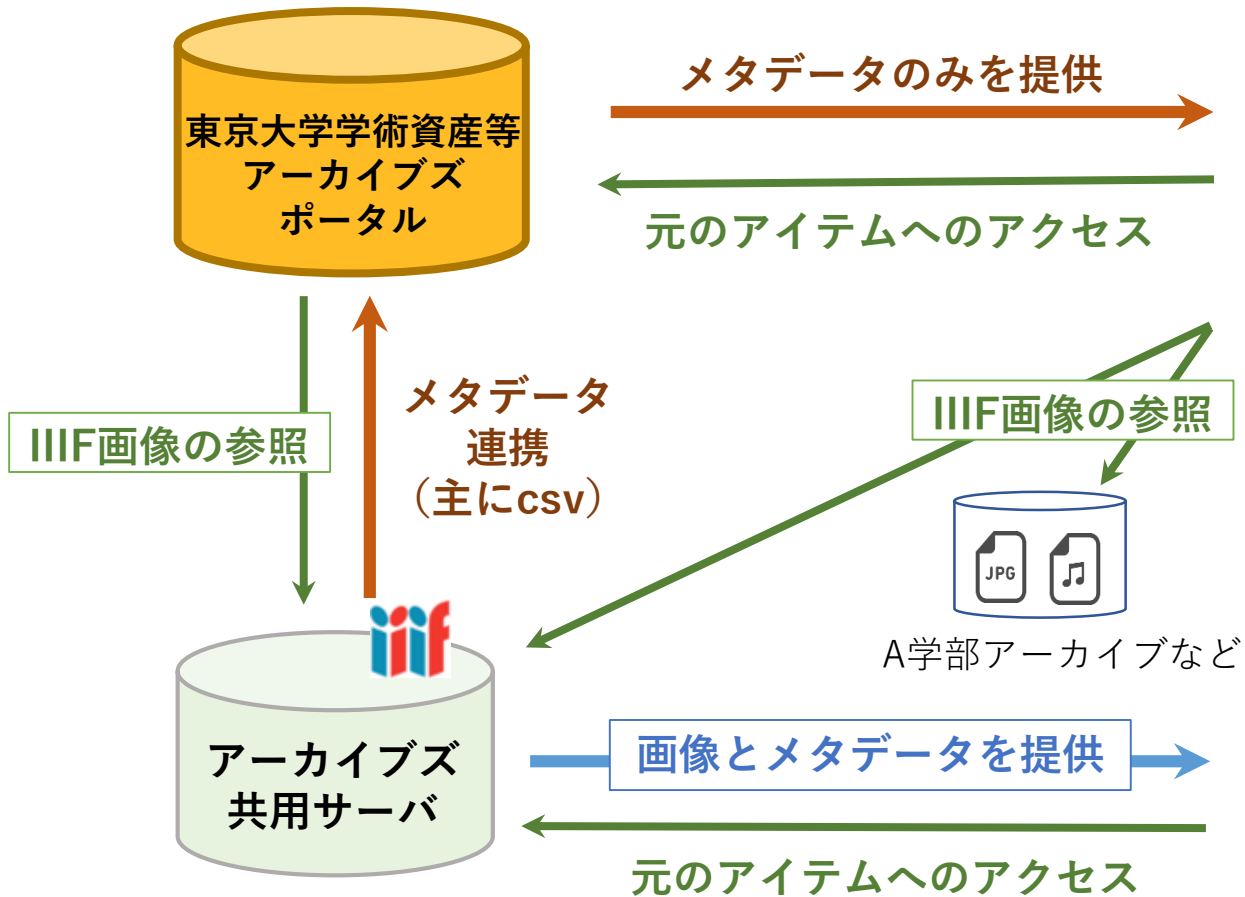
- アーカイブズポータルとの外部連携
  - ジャパンサーチ (2019.11～)  
<https://jpsearch.go.jp/>  
[https://jpsearch.go.jp/database/utokyo\\_da](https://jpsearch.go.jp/database/utokyo_da)
  - NDLサーチ (2019.12～)  
<https://iss.ndl.go.jp/>  
連携機関インタビュー (NDL様作成) :  
<https://iss.ndl.go.jp/information/renkei/renkei-interview/u-tokyo/>
- 共用サーバとの外部連携
  - Internet Archive (2021.2～)  
<https://archive.org/>  
コレクションのページ : <https://archive.org/details/utokyo-general>

# 外部連携の全体像



# 外部連携の詳細

〔メタデータの集積〕



〔画像の蓄積・公開〕

## ジャパンサーチ・NDLサーチ

- csvまたはOAI-PMHで**メタデータ**のみの連携 (画像は元サイトを参照)
- **メタデータの利用条件**が Public Domain Mark、CC0、CC BY、CC BY-SA のアイテムを連携 (約15万件)

<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/help/collection>

## Internet Archive

- APIによる連携で**画像およびメタデータ**を提供 (画像自体もIAで公開)
- 現状は**総合図書館所蔵**で**画像の利用条件**が自由利用可のアイテムを連携 (約4000件)

<https://archive.org/details/utokyo-general> 12

# 外部連携にあたって

---

- ジャパンサーチ、NDLサーチとの外部連携を希望する場合は、メタデータ・サムネイルの利用条件を自由利用可に（詳細は後述）
- IIF画像で公開すれば、アーカイブズポータル上および連携先機関でも画像をそのまま閲覧できる
- 登録依頼時に、アイテムのタイトルのヨミとローマ字、コレクション解説の英文もいただけると海外で利活用しやすい
  - 現状特にコレクション解説について、英語ページの記載が不十分  
<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/en/collection>

利活用促進のために



# 改めてライセンスについて確認してみる

PD ツール	CC0	当該データに関して適用者が有する権利（商標権・特許権等を除く）を明示的に放棄するツール。法的効力がある
	Public Domain Mark(PDM)	著作物の保護期間満了や創作性の不存在などの理由により、当該作品を誰もが自由に利用できることをアーカイブ機関等の第三者が示すツール。法的効力はない

## Creative Commons(CC)

### ライセンス

CC BY / CC BY SA /

CC BY ND / CC BY NC /

CC BY NC SA / CC BY NC ND

自ら著作権を持っている作品について、このような条件であれば二次利用してよいということをライセンスするための仕組み

[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive\\_suisiniinkai/jitumusya/2018/nijiriyou2019.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/jitumusya/2018/nijiriyou2019.pdf)

「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について(2019年版)」 p.4 を参照

※pdfリンク元：[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive\\_suisiniinkai/index.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/index.html)

# ライセンス検討のために(1)

---

メタデータ

CC0 / PDM / CC BY および相当の条件とすることで、外部連携可能に

---

サムネイル（縮小画像）

メタデータと同じライセンスを推奨

---

コンテンツ（画像自体）

可能な範囲で自由利用を可とするライセンスにすることで利活用促進へ

---

自由利用可とすることで、以下のような活用され知名度の向上が狙えることもある。

<https://jpsearch.go.jp/news/20201210>

# ライセンス検討のために(2)

---

- 原本所蔵機関としては
  - 自由に利活用してもらいたい  
(同時に)
  - 所蔵機関名を示してほしい
  - どのように利用したかという情報がほしい
- (参考) 総合図書館の例
  - 自由利用可 (CC BY相当)  
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/archives-top/reuse#reuse>
  - 利用報告フォーム  
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/digi-contents>

→ 自部署の運用するデジタルアーカイブで望ましい/適切なライセンスは？

# まとめ

---

- アーカイブズポータルは、東京大学の学術資産等の**データ流通のハブ**として、外部システムとの連携を担う
- 外部システムとの連携によりデジタル化資料の利活用を促進
  - アーカイブズポータルの連携先からさらに他の連携先へ広がっていく  
→**学術資産の見える化とさらなる利活用へ**
- データ流通の要は**オープンなライセンス**  
(可能ならIIIF対応も)

# まとめ

---

- **学内の皆様へ**

- アーカイブズポータルとの連携を検討している方はお気軽にお問い合わせください  
学術資産アーカイブ化推進室 [digital-archive@lib.u-tokyo.ac.jp](mailto:digital-archive@lib.u-tokyo.ac.jp)

- **すべての皆様へ**

- ぜひアーカイブズポータルをご活用ください  
<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/>
- 利活用例のご報告もお待ちしています  
<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/usage>
- オンライン授業等で使える素材もたくさんあります  
<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/news/20200413>